

# 令和6年度滋賀県肝炎医療コーディネーター養成研修および 滋賀県肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修実施要領

## 1 目的

B型およびC型ウイルス肝炎は、我が国最大の感染症と言われており、長期間経過後に肝硬変や肝がんなどの重篤な病態に進行する危険が指摘されていることから、早期発見、早期治療につなげることが重要である。

そのため、肝炎ウイルス検査の受検促進や検査陽性者、肝炎患者およびその家族が適切な支援を受けられるよう、肝炎に関する基礎的な知識を習得した肝炎医療コーディネーターを養成する。

また、肝炎に関する基礎的な知識を習得した肝炎医療コーディネーターに対して、滋賀県肝炎医療コーディネーターの養成および活用に関する要綱第6条に基づき肝炎に関する最新の知見等の研修をすることで、継続的な技能の向上と相互の連携の強化を図る。

## 2 主催

滋賀県

## 3 日時

令和6年12月15日（日） 14:00～16:30

## 4 場所

WEBで講座を視聴

## 5 対象者

（肝炎医療コーディネーター養成研修） 上限150人（先着順）

- ① 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師等の保健・医療・検診機関関係者
- ② 保健師等、保健所または市町の肝炎対策担当者
- ③ 産業医等、企業または団体の健康管理担当者
- ④ その他肝炎の予防および肝炎患者の支援の推進を行う者

（肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修）

肝炎医療コーディネーター（認定者）

## 6 内容

時間	内容	講師等
14:00～14:05	あいさつ	健康危機管理課長
14:05～14:10	注意事項説明	健康危機管理課
14:10～14:20	県の肝炎対策について	健康危機管理課
14:20～15:20	ウイルス性肝炎の基礎知識と最新の知見について	大津赤十字病院 第三消化器科部長 近藤 雅彦 先生
15:20～15:40	コーディネーターの活動事例について ①「これからの肝炎医療コーディネーターの役割について」	医療法人ロコメディカル 総合研究所 副所長 矢田 ともみ 先生

15:40～16:00	②「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業における多職種コーディネーターの活動と肝疾患相談センターの役割について」	虎の門病院 肝疾患相談センター 室長 寺本 いずみ 先生
16:00～16:20	③「肝炎医療コーディネーターとしての歯科医師の役割について」	滋賀県歯科医師会 医療管理部部員 村上 拓也 先生 (村上歯科クリニック院長)
16:20～16:30	受講者に対する説明	健康危機管理課
16:30	終了	

7 受講料  
無料

8 その他

- ・養成研修を受講後、受講を確認できた者に認定証および認定バッジを交付する。

## 令和6年度

### 滋賀県肝炎医療コーディネーター養成研修および

### 滋賀県肝炎医療コーディネーターフォローアップ研修

B型およびC型ウイルス肝炎は、長期間経過後に肝硬変や肝がんなどの重篤な病態に進行する危険が指摘されていることから、早期発見、早期治療につなげることが重要です。そのため、肝炎ウイルス検査の受検促進や検査陽性者、肝炎患者およびその家族が適切な支援を受けられるよう、専門知識を習得した「肝炎医療コーディネーター」を養成します。

また、肝炎医療コーディネーターに対して肝炎に関する最新の専門的知見を発信します。

#### 日時

令和6年12月15日(日) 14:00~16:30

#### 会場

WEB形式 (各自、ネットワーク環境の整った場所でご視聴ください。)

#### 養成研修

150名 (先着順)

参加料 無料

#### 募集人数

(フォローアップ研修の人数制限はありません)

#### 参加対象

(養成研修)

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、保健師、臨床検査技師、  
歯科衛生士等の医療従事者の方

行政機関・民間企業、検診機関などにおいて健康管理に携わる方  
その他肝炎の予防および肝炎患者の支援の推進を行う方

(フォローアップ研修)

滋賀県肝炎医療コーディネーター (認定者)

#### 応募締切

令和6年11月28日(木)15:00



滋賀の健康づくりキャラクター

「しがのハグ&クミ」

## 研修内容

- 県の肝炎対策について  
滋賀県健康危機管理課 職員
- ウイルス性肝炎の基礎知識と最新の知見  
大津赤十字病院 第三消化器科部長 近藤 雅彦 先生  
肝炎医療コーディネーターの活動事例紹介
- 「これからの肝炎医療コーディネーターの役割について」  
医療法人口コメディカル総合研究所 副所長 矢田 ともみ 先生
- 「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業における多職種コーディネーターの活動と肝疾患相談センターの役割について」  
虎の門病院 肝疾患相談センター 室長 寺本 いずみ 先生
- 「肝炎医療コーディネーターとしての歯科医師の役割について」  
滋賀県歯科医師会 医療管理部部員  
村上 拓也 先生(村上歯科クリニック 院長)

## 申込方法



(新たに滋賀県肝炎医療コーディネーターになりたい方)

事前登録が必要となりますので、下記URLまたはQRコードより申し込みお申し込みください。※必ずお一人ずつお申し込みください。

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/surveys/9112024933284791986>

(既に滋賀県肝炎医療コーディネーターの方)

認定時にご登録いただいた送付希望先に届いた案内によりご参加ください

## お問い合わせ先

滋賀県健康医療福祉部  
健康危機管理課 感染症係  
電話：077-528-3632  
FAX：077-528-4866  
E-mail：kansen@pref.shiga.lg.jp



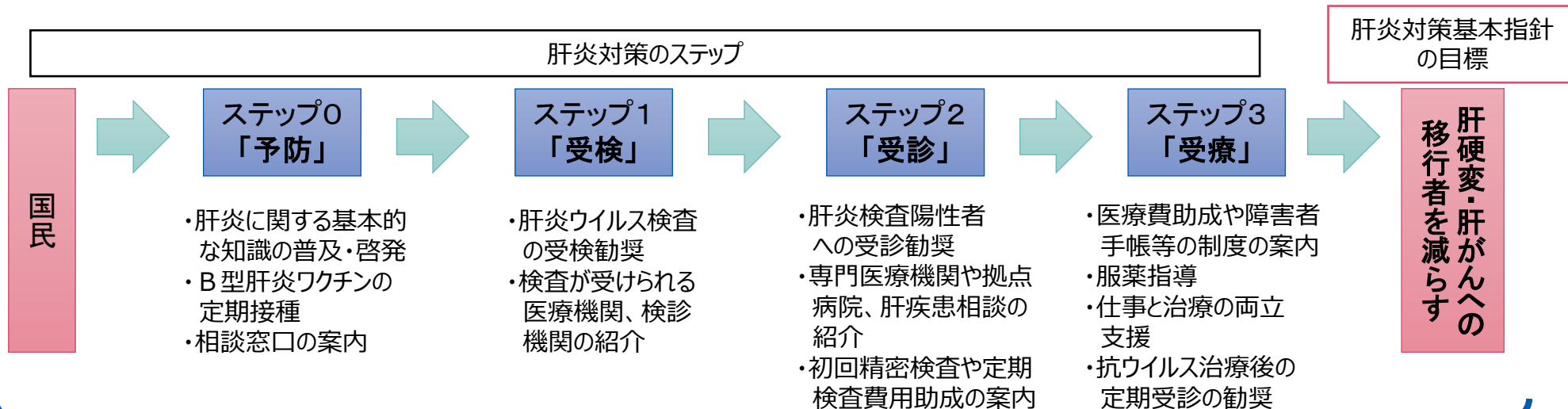
滋賀県イメージキャラクター  
うおーたん&キャッフィー

～申し込みにあたっての注意事項～

※コーディネーターになられた方には、今後も研修の案内をさせていただくことがあります。電話番号もしくはE-mailについては、所属先変更後も連絡がとれるものを記載いただくようお願いいたします。

# 肝炎医療コーディネーターについて

「肝炎医療コーディネーターの養成及び活用について」（健発0425第4号平成29年4月25日厚生労働省健康局長通知）参照



1人で全ての役割を担うのではなく、様々な領域のコーディネーターがそれぞれの強みを活かして患者をみんなでサポートし、肝炎医療が適切に促進される様に調整（コーディネート）する

## 肝炎医療コーディネーター

保健師



患者会  
自治会等



自治体職員



職場関係者



看護師



医師



歯科医師



臨床検査技師



薬剤師



身近な地域や職域、あるいは病院等に配置され、それぞれが所属する領域に応じて必要とされる肝炎に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝炎への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、制度の説明などを行う。他の肝炎医療コーディネーターとも協力・連携することで、肝炎の「予防」、「受検」、「受診」、「受療」と「フォローアップ」が促進されることが期待される。

さらに、身近な地域や職域で肝炎医療コーディネーターが活動し、肝炎への理解を社会に広げる基盤が醸成されることにより肝炎患者への差別や偏見の解消に繋がることも期待される。